

権現堂山報告

(山 域) 越後山脈

(コース) 権現堂山

(日 時) 平成29年10月28日 (土)

(天 候) 曇り

(参加者) CL 柘植、SL 斎藤 (一)、園田、石井、滝本 (記録)

(山行タイム) 登山口 6:00、弥三郎清水 7:40、下権現堂山 8:03~8:23、中越 8:5

7、上権現堂山 9:35~9:55、中越手前 10:20、登山口 11:50

(登り 3時間35分、下り 1時間55分)

(山行報告)

当初は10月28日(土)、29日(日)で足尾の赤倉山と尾瀬の燕巣山に登る予定でしたが、両日ともに天気予報では雨だったので、1日だけでも行ける場所は無いかと探したところ、新潟では28日は降らない予想だったので権現堂山に登ることにしました。但し夕方には雨が降る可能性があったので、前夜泊にして早く登って、早く降りることにしました。

道の駅ゆのたにに0時半頃に到着してテントを張り、1時過ぎに就寝。駐車場には何台もの車が既に駐車しており、特にトラックのエンジン音がうるさく、出入りの音で何度か起こされてしまいました。

5時に起きて道の駅の前のコンビニ(SAVE ON)で朝食を済ませ、戸隠神社手前の駐車場(20台以上駐車可)に車を停めました。朝が早いせいか、まだ1台も停まっています。

とりあえず神社の階段を上ってお参りして出発。気温はやや低いのですが、結構な急登が続いており、体温が上昇したので汗をかく前に上着を脱いで再出発。最初は低木が多くて展望が良い中を登って行きました。



駐車場横の登山口



樹木が低いので展望の良い状態が続きます

しばらく登ると樹木が徐々に高くなり展望がやや悪くなっていきますが、葉が紅葉していて気持ちの良いブナ林の道に変わっていきます。

後からおじさんが登ってきたのですが、手にはピッケルを持っていて、どうしてピッケルを持っているのかと聞いたところ、道を整備するためということでした。この後、粘土質で非常に滑りやすい個所が何か所も有ったのですが、出来たばかりのステップが切ってあって、そのおじさんがピッケルでステ

ップを付けてくれたようです。地道に登山道を整備してくれているボランティアの方に感謝です。



ブナ林の紅葉の中を進んで行きます



弥三郎清水

弥三郎清水は、岩の割れ目から湧き出ている清水で、冷た過ぎることはなく、とてもおいしい水でした。弥三郎というのは鬼子母神の話に似た弥三郎婆（やさぶろうばさ）の伝説に出てくる人物で、神社に伝説が書かれた看板もありました。

7合目を過ぎるとロープ場や岩場が現れ、急登が出てきます。

紫色の実を付けたムラサキシキブや赤くて柔らかい実を付けた（ツルリンドウ?）を見かけました。



ムラサキシキブ



ツルリンドウ?

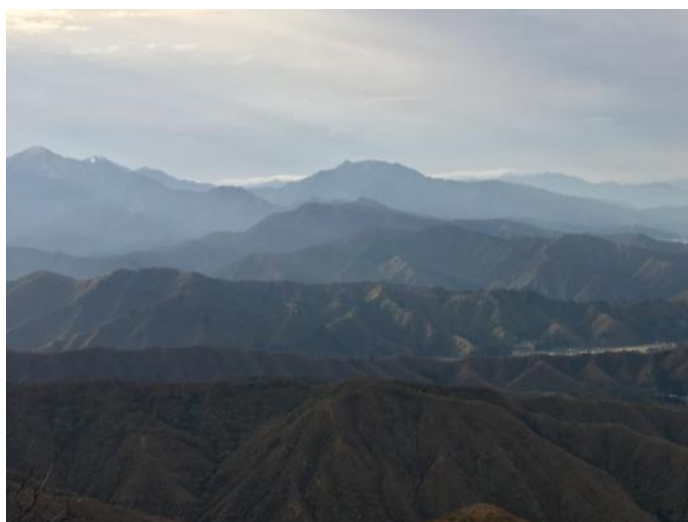
八合目には岩がせり出して展望の良い場所が有り、扇状地形と八海山、越後駒ヶ岳、中ノ岳も一望で

きました。中ノ岳の山頂近くには白い部分が見え、雪が積もっているようです。こわごとと岩の先まで行くと足元に紅葉が広がって見事でした。

八合目を過ぎると間もなく下権現堂の山頂に到着。この山頂からは周りが低木なので見晴らしが良く、20分ほど休憩。



紅葉と扇状地形



越後駒ヶ岳、中ノ岳、八海山

この後上権現堂まで稜線を歩きましたが、以外にアップダウンが多く、粘土質で滑りやすかったり、痩せ尾根で気を抜くと危ない個所がありました。前述したようにボランティアのおじさんが危険な個所は小さいながらもステップを作ってくれていたのが比較的安心して歩けました。雨が降っていたり、落ち葉で隠れていたりするととても危険です。

この稜線上では特に黄色の紅葉が見事でした。また、アズマシャクナゲを保護しているプレートが何か所もありましたが、盗掘によって数が少なくなっているようです。



下権現堂山頂



稜線北側の崖の紅葉

中越を經由して上権現堂まで約1時間10分（コースタイムは1時間）で到着。

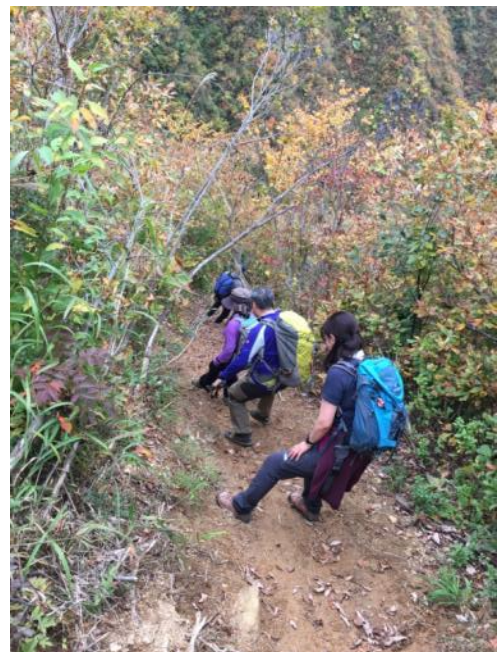
この近くに弥三郎婆の住んだ鬼の穴が有るそうだが、ネット情報では急な個所が有って踏み跡が不明瞭で見つからないという情報が多かったので行くのは中止しました。

ここでも20分ほど休憩してきた道に戻る。帰りは中越よりも上権現堂よりから下る道が有り、中越えからよりも緩やかな下りなのでそちらを選んで降りて行きました。

稜線から25分ほど下ったところに水場が有りました。こちらは竹の先から出ていました。ここから少し下ったところで休憩したのですが、石井さんがモズの速糞(はやにえ)を発見しました。保存食のためかと思っていましたが、本能的に作ってしまうという見解が今のところ一般的な理由とされているようです。写真を撮りましたがちょっとグロテスクなので掲載は止めました。



紅葉の中を下ります



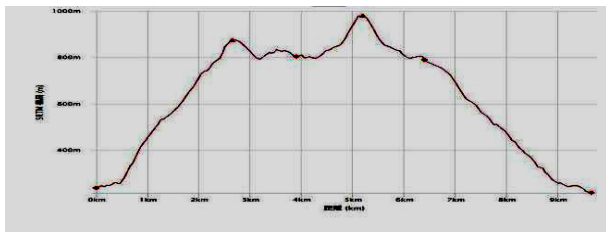
最後の急坂を慎重に降ります

駐車場は出発時には1台も無かったのが15台程度に増えていました。近県の他県ナンバーが多かったです。千葉は我々の1台だけでした。



コース概要

小出から見た 下権現堂山 と 上権現堂山



登下降グラフ

山行報告：滝本 昌彦